

## タウンミーティング意見交換方法（案）

### 1. 事前準備

#### （1）議題の設定

1 グループにつき、本計画中間案にて整理する基本施策案 2 つ程度についての意見交換を目安に、グループごとに議題（施策案）を割り振る。施策内容のボリュームを鑑みて、各グループへの議題を割り振る。

### 2. ワークショップの手法

- ①各グループのテーブルに、白紙（A1 判程度）、付箋紙（7cm×7cm 程度）、ペンを準備する。
- ②参加者は、計画（案）に対する意見等を付箋紙に書き、書いた内容をグループのメンバーに説明しながら A1 白紙に貼る。
- ③意見が概ね出揃ったら、似た意見同士をグルーピングし、視覚的に分かりやすく整理する。

### 3. 意見交換内容と時間配分

#### （1）ワークショップの説明（10分）

議題（施策案）の概要、ワークショップ手法についての説明。

ワークショップ手法：意見の出し方（意見を書いた付箋紙を A1 白紙に貼る）、  
注意点（他人の意見の否定はしない）など

#### （2）ワークショップ（60分）

1 議題（施策案）につき 30 分×2 議題を目安に、参加者から意見を出してもらおう。出してもらった意見の例としては、下記①、②が挙げられる。時間配分などは、各グループの協議進捗を踏まえ、ファシリテーターが適宜調整する。

- ①：各施策を進める上で予想される課題。
- ②：各施策の内容及び目標値に対する意見。

#### （3）グループ発表・共有（7グループ×3分=21分）

発表者は、当事者意識醸成の観点より、ファシリテーターではなく参加者が行うことが望ましい。